

教育民生 常任委員会

秋田県後期高齢者医療広域連合の設置

問 連合の趣旨と、国保との関連についてどうなるのか。また加入者の負担、市の負担等どれくらいになるのか。

答 この制度の一番のねらいは、一番医療費のかかる老人保険を都道府県単位で共通して、財政基盤の安定化を計り、安定した経営を行うというものである。加入者の負担については、総費用額の十分の一をお願いしたい。市の負担等については、県の準備委員会でもまだ試算できない段階である。

仙北市国民保護対策本部及び仙北市緊急対処事態対策本部条例制定

問 対策本部については、武力攻撃、テロ攻撃等を想定しているが、戦争状態を想定していると感じ

る。現状の防災計画で対応できると思うがどうか。市の組織造りは今年度中に出来るのか。

答 我が国に対する武力攻撃に対応するために国と関係団体等が役割分担をして、住民の生命、財産を守るという趣旨である。

また、現在の防災計画は自然災害、地域の人災についての想定で、大規模なことについての取り決めは行っていない。一月の末に協議会を開催し、素案を県と協議したいと考えている。

仙北市歯科診療所条例の一部改正する条例制定

仙北市診療所条例の一部改正する条例制定

仙北市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例制定

仙北市病院事業使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例制定

問 料金の統一が必要なことは理解していたが、なぜ高い角館総合病院に合わせなければならぬのか。また、内部努力で低い方に合わせられなかったのか。次はいつ料金を改定する予定なのか。

答 角館総合病院が平成九年度に県内の病院で実施している手数料に合わせ改正している。角館に合わせるのが適当と考えた。合併協議でも合併後に早目に統一すべきと協議している。次回の改定は検討中だが、平成二十一年四月にお願いできればと思っている。

議案百九十五号

仙北市立小中学校条例の一部改正する条例制定

問 統合準備で関係者との打ち合わせ等はしっかりおこなっているのか。学童保育についての要望が出されなかったのか。

答 引き継ぎの中で基本的に合意出来ているものについて、確認しながら進んでいる。学童保育についてはアンケートを取ったが、上桧木内学童保育については希望がなかった。

問 学校林の目的、観点をしっかりと捉えて、活用すべきではないか。旧何々小学校とするのは、地元に対する思いとしてはわかるが、おかしいのではないか。

答 学校林の実態を春以降に調査し、利用できる学校林については活用を検討していきたい。

議案第二百九号

平成十八年度仙北市一般会計補正予算のうち教育民生常任委員会関係

問 旧角館保育園を児童館と放課後児童クラブに使用するようだが、どのような形で使用するのか。現在の学童保育の人数と文部科学省で行う放課後子供プランとの関係はどうなるのか。

答 二階の園室の二部屋程度を放課後児童クラブに、その他の部分を児童館と予定している。人数は百人を欠けるぐらいである。

問 障害者福祉費のにじの会、さくらの会への補助金が九月の精算というのには理解したが、それに替わる仕組みがよくわからない。また、ここに幼稚園の跡地利用について、西明寺小の学童保育は学校で出来るのか。

答 十月以降分については知的障害者施設訓練等支援費と地域活動支援センターの委託料合わせて同額が支払われている。学童保育等についてはこれから検討するが、体育館を利用する等可能ではないかと思っている。

問 汚泥再生処理センターについては今回予算が大きく出てきたが、実施設計は出来ているのか。なぜ前倒しで補助金が交付されたのか。

答 当初計画は今年度基本設計、来年度実施設計、事業着手と考えていたので、まだ基本設計の途中である。一月には委員会に示す予定である。

問 角館交流センターが四月から移管になるが、活用の位置付けは。

答 公民館の管理運営について、現在社会教育関連施設のセンターとして活用されているので、そのとおり使って欲しいと言われているが、まだ検討していない。公民館については、職員配置の関係等建物も含め改善すべき点は多くあると思っている。

以上、慎重審査の結果、原案を可とすべきものと決定した。



4月から移管となる角館交流センター